

野村 のむら ようこ 羊子



といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.64

■2012年度決算代表質疑+総括質疑

1) **都市再生**：学校・公会堂の耐震補強工事と三小・別館建替工事等23事業計93億。市での全体像を示す必要はないとの答弁。第4次基本計画で長期見通したとするが、具体的ではなく不十分。2016年に耐震補強100%終了予定とするが、市庁舎等の建替え等はどうするのか見えないまま。



1) **財政指標：財政力指数**（必要経費と収入の割合を国が計算する数値で、1.0を超えれば黒字。1以下の赤字なら地方交付税が不足分交付される基準となる）。三鷹市はずっと黒字で地方交付税不交付団体。03~10年度は1.2を超えていたが、11年度1.146、12年度1.071と低下。国も地方交付税総額を押さえる方向。国基準で実施する事業で交付税措置(計算の中に入れる)ものが沢山あるが、三鷹市は自前の財源で実施。余裕のない財政運営が続く見通し。

新川防災公園等で**市債発行**は例年の2倍の69億。5年後の公債(返済)費額は、相変わらず井口の売却を見込み41億5千万と答弁。後の再質問で、未売却なら^{プラス}+3~4億と答弁。返すより借りる方が多い借金積増し状態で、将来負担増が明確になった。

3) **震災復興特別交付税**：制度に則り適切に交付。流用とは思わない。受けなければ組合債発行が認められず、財政に深刻な影響との答弁。がれき受入れについては、地元協議会が協議したとするが、一般市民への説明・対応はない。



4) **放射能汚染対策**：年1回の給食測定は最善かの質問に、市長は、「風評被害が差別を生む、過剰な取り組みは不安を誘発する」と現状維持の姿勢を示した。国の測定ですら基準値超えがある現状に対する危機意識がなく残念。


5) **市民生活への影響**：防災公園も、保育料の値上げ等も、公開で市民と相対しての説明会がない。市報での告知と関係団体等閉じた中での説明のみ。市民と真向かうの^{こと}を避けている。




■9月議会一般質問


1 子どもの健やかな育ちを支えるまちづくりについて

(1)就学前の子どもの暮らしを支える施策


 弾力的運用での保育の質の確保についての質問に、**市長は 公立は残す!**。割り増し定数や、有資格者確保での質の維持について聞いたのだがすれ違い。保育士不足は、部長が有資格者の処遇改善が国でも論議中。**全市的な研修を充実**と現状維持の答弁。


 幼稚園預かり保育の質の確保は、**私学の建学の精神」尊重のため内容チエツクはしていない**と部長答弁。就学前の子どもの発達保障は?と再質問。私立幼稚園協会や園長会で助言協力。今後の**新制度での 保育」実施体制を支援する**とした。保育園と幼稚園、高め合う統合になるか。新制度への移行を見守りたい。



 保育コンシェルジュ的な個別の相談体制は?と質問。**子育て支援の相談は在宅や要支援児童等が優先と市長答弁**。3歳児以降ほぼ全員施設入所するのだから、適切な入所相談をと再質問。新制度を見据え、相談人材を育成し、**総合相談体制構築**と部長。

(2)子宮頸がんワクチンへの対応について

 市内でのHPVワクチン副反応被害報告はない。文科省の学校への調査も長期欠席等の報告はない。医師会と緊密な情報交換をしている。**6/19に再度積極的勧奨中止通知を発送**。市HPはPDFリンクのみ。文章貼り付けを要請、検討するとの答弁。どうなるか?

 子宮頸がん検診体制強化やHPV検査併用は、医師会と協議する。無料クーポン券事業終了後も、**検診の個別勧奨を継続予定**。受診しやすい体制整備と、保健所、医師会、学校、養護教諭への**被害実態についての研修を要請**。情報提供はしているとするが、不十分。

■決算審査特別委員会

2012年度一般会計、国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療各特別会計決算に反対。介護サービス事業・下水道各特別会計決算に賛成。

■厚生委員会

・議案第37号子ども子育て会議条例新制度対応のため法定設置。可決。

・健康福祉部行政報告は「障がい者就労支援視閲等からの優先調達」

・子ども政策部行政報告は、「子ども子育て新制度への対応」「山中保育園定員拡充」。



■総務委員会を傍聴。

・議案第41号補正予算。土地開発公社の債務補償上限額を25億に引き上げは、消防署移転用地のため。これも将来の負担増になる。賛成し可決。

・議案第39号「三鷹市民保養所条例を廃止する条例」、「箱根みたか荘の存続を求める請願」。請願代表者による補足説明があった。結局、市民合意をとる努力が不足。説明会もなく代替案の提示もないのでは、市民は納得のしようがない。議案反対、請願賛成するも、議案可決、請願不採択。



■請願の取り扱いのドタバタ。

1) 三鷹市民保養所に関して、廃止条例議案と存続を求める請願が2件提出。請願3号は共産党が紹介議員で、野村が主張し総務委員会(10日)付。請願4号は野村も紹介議員となっていたため、付託を主張する会派がなく即決(9日本会議)。議案審査する前に同じ案件の請願を議決するのはいかがなものか。等々議論をしたが、結論は変わらず。だが、4号を本会議で議題にする際、「議事進行に異議あり」の声がかかり、さらに4時間調整に時間がかかった。

2) 「中学特別教室にクーラー設置を求める請願」文教委員会付託。10日に行政との質疑。12日請願者から補足説明のはずが、当日朝取り下げ。タイトルと文言を若干変えて別途提出。請願者が来ていたが、改めて議運と本会議で諮る必要があるため、文教委員会での説明がなくなり、紛糾。関わった議員の根回しや、委員長の配慮不足とい議院内議員間のコミュニケーション不足の問題

■議員提案意見書

議員提案意見書。野村起草3件。「過労死防止基本法制定」は民主・共産・にじの賛成で11:16で否決。「子ども・被災者支援法基本方針に被災者の声の反映を求める」は、みんなの党も賛成で12:15だが否決。「原発事故時効延長」は公明・民主・共産・にじの賛成で16:11となり可決。

■東京外環道路 動きが急ピッチ!

◎8/23~9/1「道路の立体的区域の決定及び区分地上権設定に関する説明の場」5か所全10回開催;スライドで40分間説明の後、40分間質疑応答。5地区6回参加。地下トンネルからの影響を心配する声に答えきれない国交省の対応だった。→9/17 立体的区域とJCT部分の道路区域決定。官報にて告示.30日間図版縦覧。

◎9/2~6「大深度地下使用許可申請に向けた東京外かく環状道路の説明会」5か所で開催。

☆2日夜は、東京外環道路[大深度地下使用認可申請]説明会@武蔵野市本宿小学校に参加。スライド説明に約60分。質疑応答は残りの30分間。地下水の影響、地盤沈下の不安、地上部「外環の2」に質問が集中。相変わらず8時半で打ち切り。

◎9/9~13「オープンハウス」沿線5か所開催。

・この間の説明会の補足のためとしながらも、実際は「機能補償道路(案)」提示の場となっていた。数枚のパネルと配布資料1枚で終わらせようとするのは説明責任を果たしていない。外環特別委員会で別途の説明会の要望するよう求めた。

・世田谷でも、ヒ素が大量に出た土壌汚染調査結果をパネル展示のみ。地元は説明会開催を要望。

◎8月、9月に中央JCT準備工事2件の入札公告。中央道から北野ゲートボール場を通り、将来料金所となる、ランプ用シール掘削機発信地の立坑をつなぐ取り付け道路を設置する工事。及び、中央道への進入路となる仮橋設置+現在遺跡調査中の遊び場広場北側部分に中央道から降りてくる傾斜路を設置し、高架下の現道につなげる工事。10月に事業者が決まり予定。その後、事業者による工事説明会開催の予定。



◎9/13午後6時から、武蔵野市立本宿小学校にて、国交省の回答を1年遅れで聞く会。昨年8月、院内集会で出した質問への回答。未回答だった質問に答えるとのことで遅刻するも参加。資料配布なしの説明に紛糾。実際に回答したのは2問。書面での回答を依頼して終了。

■議案第38号 比野ひがし児童遊園廃止」条例。外環JCT工事に関連する議案なので反対。可決。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.64
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net
Url: http://www.nomura-yoko.net
Twitter: @hitujinomura

